

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2017-204783 (P2017-204783A)
 【公開日】平成 29 年 11 月 16 日 (2017.11.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-044
 【出願番号】特願 2016-96362 (P2016-96362)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/369 (2011.01)

H 0 4 N 5/341 (2011.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 Z

H 0 4 N 5/335 6 9 0

H 0 4 N 5/335 4 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 6 4 】

本実施形態では、撮像部 2 0 5 は、動画記録動作中において、撮像素子 3 0 0 の出力スイッチ 3 1 6 から出力されるデジタル画像信号を動画記録用の画像信号としてフレームメモリ 3 1 7 に格納しないで画像処理部 2 0 7 にフレームごとに周期的に転送する。また、撮像部 2 0 5 は、動画記録中に静止画撮影指示を受けた場合は、撮像素子 3 0 0 の出力スイッチ 3 1 6 から出力されるデジタル画像信号を静止画記録用画像信号としてフレームメモリ 3 1 7 に格納する。そして、撮像部 2 0 5 は、フレームメモリ 3 1 7 に格納した静止画記録用画像信号を、動画記録用画像信号が一定周期で転送される合間 (V B L K 期間) に画像処理部 2 0 7 に転送する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 8 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 8 9 】

S 7 1 2 では、システム制御部 2 0 1 は、メモリ制御部 2 0 9 によりメモリ 2 1 0 に書き込まれた画像データを記録媒体 1 0 9 に記録する。なお、少なくとも 1 フレーム分の画像データが揃わなければ記録媒体 1 0 9 へ記録する画像ファイルの生成が完了しないため、S 7 1 1 でのメモリ 2 1 0 への画像データの書き込みと、S 7 1 2 での記録媒体 1 0 9 への記録は連続的に行われるとは限らない。例えば、静止画データは動画データの複数フレームにわたって分割されて撮像部 2 0 5 から転送され、画像処理部 2 0 7 で処理されて 1 フレーム分の画像データが生成されるので、メモリ 2 1 0 に 1 フレーム分の静止画データが書き込まれた後に S 7 1 2 での記録媒体 1 0 9 への記録が行われる。一方で、動画データはフレームごとに記録媒体 1 0 9 への記録が行われ、S 7 0 4 から S 7 1 2 までの処理を繰り返し動画記録動作が継続される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 1】

